

武雄絵図

武雄鍋島家資料 武雄市

西九州新幹線開業プレ企画展

路みちをたどって

交通の要衝 武雄

西九州新幹線開業が間近に迫る武雄は、古くから交通の要衝であり、さまざまな文物が行き交いました。本覧会では、いわゆる「長崎街道」を中心に、武雄を通った路、武雄を通った物に注目して、交通の要衝、武雄の歴史を紹介します。

三方法郷之図 白石南郷之内 檜崎村之図 武雄鍋島家資料 武雄市

観覧無料
会期中無休

令和4年

7.30土 - 8.28日

主催/開催場所

武雄市図書館・歴史資料館

〒843-0022 佐賀県武雄市武雄町大字武雄5304-1 TEL.0954-28-9105

蘭学・企画展示室 開館 日~木 9時-17時 金・土 9時-18時

ギャラリートーク

8月6日[土]・8月14日[日]

いずれも14:00~

新型コロナウイルス感染症等の影響により、変更・中止となる場合があります。



EPOCHAL TAKEO
工ボカル武雄

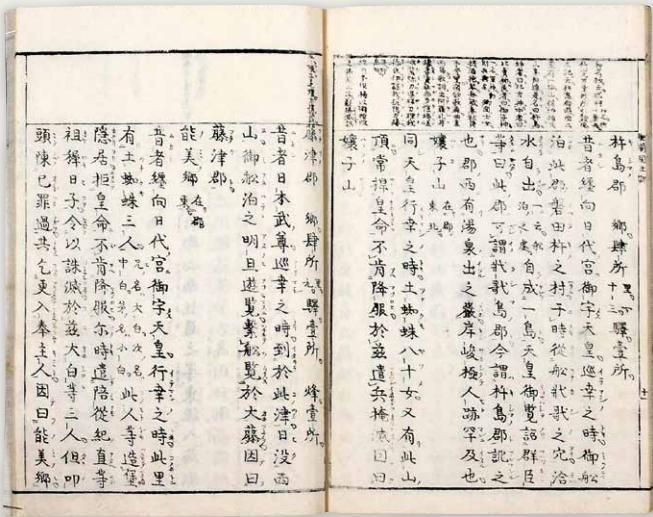
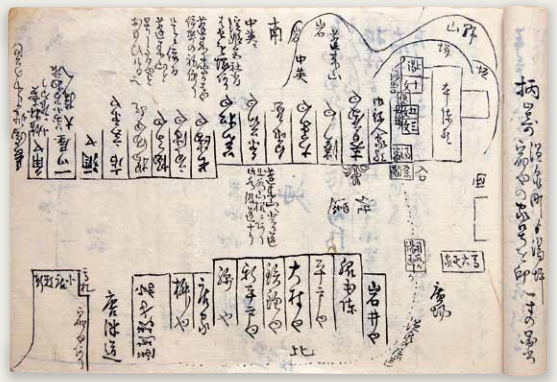
北方宿本陣

塚崎宿 鍵型道路

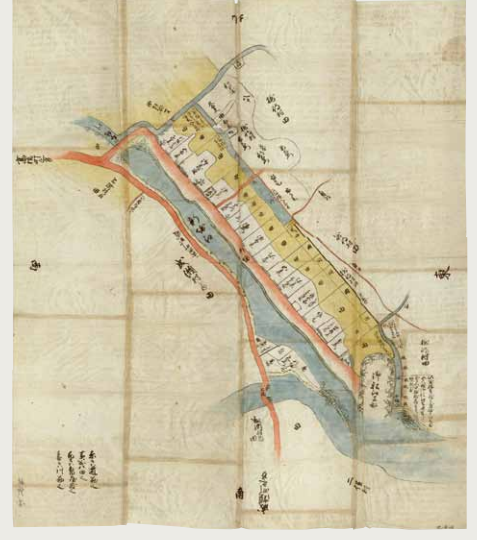
高橋宿の町並み

塩田道 鳴瀬

2022年5月撮影

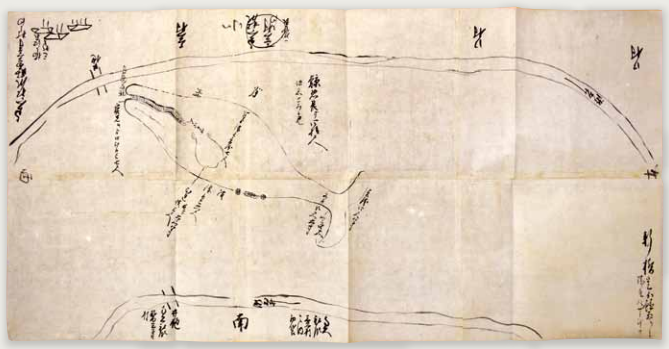


新堀之図 武雄鍋島家資料、武雄市



佐賀県重要文化財

新橋筋筋入込候鯨図 多久家資料、多久市郷土資料館



西九州新幹線開業プレ企画展

みち 路をたどって 交通の要衝 武雄

西九州新幹線(武雄温泉-長崎間)開業を控え、「西九州のハブ都市」として存在感を高めている武雄は、古くから交通の要衝でした。

古くは古代官道が南北を通り、江戸時代に入ると小倉から長崎への路が整備されました。いわゆる「長崎街道」です。当初は追分(北方町追分)から鳴瀬(橋町鳴瀬)を通り、塩田(嬉野市塩田町)へと向かう塩田道が主要な路でした。後に追分から高橋(朝日町高橋)を通り、塚崎(武雄町)を抜けて嬉野へとつながる塚崎道も使われるようになります。

国重要文化財

モルチール砲 武雄鍋島家資料 武雄市



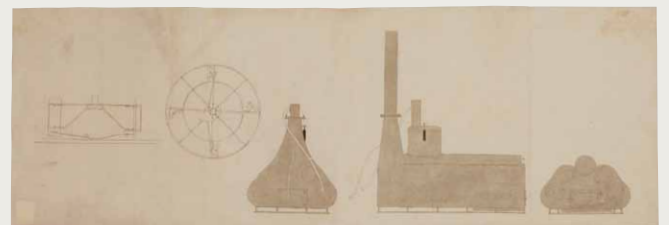
また、河川交通も発達しており、武雄を東西に流れる六角川は、水害で人々を苦しめることもありましたが、水運によって人々の生活を潤しました。

武雄には、こうした路を利用して、さまざまな文物がもたらされました。江戸時代後期の武雄領主・鍋島茂義がヨーロッパの珍しい文物を集めることができたのも、長崎への地理的な優位性と、交通網の発達が大きな要因と言えます。今も残る武雄の資料の内、2,224点が「武雄鍋島家洋学関係資料」として、国の重要文化財に指定されています。

本企画展では、「長崎街道」を中心に、武雄を通った路、武雄を通った物に注目して、交通の要衝、武雄の歴史を紹介します。

国重要文化財

蒸気機関の図 武雄鍋島家資料 武雄市



武雄市図書館・歴史資料館

〒843-0022 佐賀県武雄市武雄町大字武雄5304-1
TEL.0954-28-9105 FAX.0954-28-9205
E-mail:epochal@city.takeo.lg.jp
http://www.city.takeo.lg.jp/rekisi/his-top.html

